

医療的ケア実習

担当教員 吉岡 久美

配当年次 4年

単位区分 選択

準備事項

備考

開講時期 第1学期

授業形態 実習

単位数 2

【授業のねらい】

介護福祉士に求められる医療的ケアである「喀痰吸引」、「経管栄養」を、指導者の下で安全、安楽に実践する技術を習得し、対象者の尊厳、感染防止、以上の早期発見に留意しながら実践する。

到達目標：対象者の尊厳を守り、安全・安楽な吸引や経管栄養の援助に関する物品準備、観察、実践、片づけなどの一連の主義が説明でき、実施できる。

【授業の展開計画】

【科目担当者：吉岡 実務経験】

大学病院（看護師）、一般病院（看護師長）、訪問看護ステーション（訪問看護師・管理者）、介護福祉士養成校教員（高齢者科目担当）他

1. 喀痰吸引（口腔内10回以上、鼻腔内20回以上、可能であれば機関カニューレ内部20回以上）を、指導者の指示を受けながら、利用者の心身の状態を正確に観察し、指導者と連携し医師に報告し、喀痰の吸引を安全、安楽、かつ効果的に実施する。

2. 経管栄養（胃瘻または腸瘻20回以上、可能であれば経鼻20回以上）を、指導者の指示を受けながら、利用者の心身の状態を正確に観察し、指導者と連携し医師に報告し、経管栄養を安全、安楽、かつ効果的に実施する。

【履修上の注意事項】

実習施設のきまりを守り、個人情報保護、尊厳の順守、真摯な態度での実習をすること。

事前学習として、医療的ケアの基礎Ⅰ、Ⅱを振り返り、解剖整理、疾患の理解等を深め、医療的ケアの実践で行った技術の再確認と観察項目の確認をすること。

事後学習では、実際に振り返り、補助がなく実践できるための手順の確認と観察、対応を明確にすること。（事前事後学習として90分）

【評価方法】

実習施設指導者評価60%、指導教員評価30%、記録等の提出10%

【テキスト】

医療的ケア（メヂカルフレンド社）

【参考文献】